

ボランティア 第十三回 研修交流会



十一月十二日十時から、八幡ロイヤルホテルで第十三回ボランティア研修交流会が開催されました。参加者は「さわやか」ボランティア四十名、佐賀県腎協十六名、ステップ福岡二名、ほほえみ佐世保一名、「さわやか」スタッフ四名、総勢六十三名でした。研修会は、十時から「ボランティアと奉仕について考え

ました。また、ボランティアについて具体例をあげながら、実際のボランティアとはどんなものかを話されました。「さわやか」のボランティアさんの、実際の例をあげ、その全てが含蓄のある言葉であることを、参加者全員で確認しました。研修会が終わり、引き続き交流会に移りました。交流会はホテルの最上階のホールで開催されました。中華料理の御馳走を食べながら、「さわやか」レディースによる、ゲームが行われました。ビンゴゲームにはじまり、けん玉大会、全員が参加できる「福引き」がありました。番号札を引いてもらいながらマイクを向けそれぞれの皆さんから、一言ずつ発言がありました。また、引き当てた景品の中にも、いろいろ楽しみがかくされ、割り符が符合した人、お祭りうちわの色シールでの生き残った人に、豪華商品が渡されました。各地からお見えになった来賓の方々にも満足がいく研修交流会になりました。交流会は、二時間半にわたり盛大に行われ、明日への鋭気をやしない、とどこおりなく幕を閉じました。

十一月十二日十時から、八幡ロイヤルホテルで第十三回ボランティア研修交流会が開催されました。参加者は「さわやか」ボランティア四十名、佐賀県腎協十六名、ステップ福岡二名、ほほえみ佐世保一名、「さわやか」スタッフ四名、総勢六十三名でした。研修会は、十時から「ボランティアと奉仕について考えました。また、ボランティアについて具体例をあげながら、実際のボランティアとはどんなものかを話されました。「さわやか」のボランティアさんの、実際の例をあげ、その全てが含蓄のある言葉であることを、参加者全員で確認しました。研修会が終わり、引き続き交流会に移りました。交流会はホテルの最上階のホールで開催されました。中華料理の御馳走を食べながら、「さわやか」レディースによる、ゲームが行われました。ビンゴゲームにはじまり、けん玉大会、全員が参加できる「福引き」がありました。番号札を引いてもらいながらマイクを向けそれぞれの皆さんから、一言ずつ発言がありました。また、引き当てた景品の中にも、いろいろ楽しみがかくされ、割り符が符合した人、お祭りうちわの色シールでの生き残った人に、豪華商品が渡されました。各地からお見えになった来賓の方々にも満足がいく研修交流会になりました。交流会は、二時間半にわたり盛大に行われ、明日への鋭気をやしない、とどこおりなく幕を閉じました。

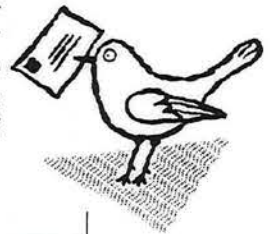


あいさつをされる
 富崎会長

前略
 昨日は、さわやか研修会に参加させていただきましてありがとうございます。江頭会長のボランティアの本質を鋭くついた講演、その後の心のこもった交流会、楽しいかぎりでした。佐賀から参加したボランティアさんも初めて参加された人もあり、非常に喜んでおりました。ある人は食事もあり、楽しいレクリエーションあり、おまけに景品までいただいたと恐縮しておりました。本当に佐賀にとってはありがたいがたく、有意義な交流会でした。心よりお礼申し上げます。今後とも何かとご迷惑をおかけしますが、よろしくお願い申し上げます。
 草々

佐賀県腎協 会長
 富崎 忠博 氏

からの お便り



つづやき
 カード
 館森 由利子

私が通院介護のお手伝いを始めたのは、兄が二十五年以上透析をしているので何か自分で出来る事はないものかと思っていた時、市政だよりで「さわやか」の送迎ボランティア事業を知りすぐ応募しました。今三人目の方との出会いで良い勉強をさせてもらっています。だいたい同年代です。糖尿病から失明、透析に至っているのです。ここまでくるとには絆糸曲折があったでしょうがとても明るい方で一週間一回十数分の付き合いですが教えられる事が多々あります。自分の健康に又ボランティア生活が出来る事に感謝しております。



Merry Christmas
 年末年始 事務局
 お休みのお知らせ
 12月29日(金)～1月3日(水)
 までお休みします。

第一回 通院介護支援事業交流会

十二月二日(土)三日(日)の両日、チサンホテル浜松町(東京都)で通院介護支援事業全国交流会が開催されました。全国から、通院事業を始めるところ、これから始めようとするところが、一堂に会しました。六十一名の参加がありました。

四年前に全腎協の指導の下に、「さわやか」が結成されそれが全国に波及していきました。現在、全国に二十八ヶ所の通院介護支援事業が発足し活動を進めています。

全腎協が通院介護事業の運動方針をだしてから、五年が経過し、全国に二十八ヶ所の事業所ができたので、全国初の交流会がもたれました。

第一日は十四時から交流会が開催されました。油井会長からの挨拶をうけ、小林常務理事の司会で会議はすすめられました。

小林理事が問題提起をしました。「患者同士で通院の支援活動を」という呼びかけに応え、全腎協で最初の事業所(通院介護センター「さわやか」)が発足して四年余り。全国に広がる「通院介護支援事業」の意義や到達点、今後の方向性などを紹介・提起しました。全国から集まった仲間達が自己紹介・団体紹介を北から順番に行いました。

通院送迎支援センター「サポート室蘭」の福岡夕起子コーディネーターから自己紹介が始まり、最後は大分県の和田純一会長で締めくくりました。

どこの事業所も、自分たちの活動を誇り高く報告していました。

九州からは、「さわやか」をはじめ、「ステック福岡」「ふれあい佐賀・白石」「ほほえみ長崎・佐世保」それに大分県腎協から和田会長が参加しました。

自己紹介のあと、色々な問題点がだされました。NPOの取得、通院車両、財源問題などが話し合われました。

会議終了後、「さわやか」には、あちこちの事業所から挨拶や資料の送付などの申し出がありました。

第二日は、全体討論が始まりました。

ボランティアと利用者の募集方法、財源の確保、法抵触問題と業界への対応、NPO取得、他団体との連携、介護保険との関係など「会」の運営について話し合われました。

「さわやか」からは、介護保険の問題と、送迎途中の出血の問題を主に発言しました。送迎中の穿刺部分からの出血について、感染症の問題は



全国でも初めてのようので、全国の仲間に大きな反響を呼びました。

全国的には、財源の安定している事業所は、「さわやか」と佐賀県腎協の「ふれあい佐賀・唐津・白石」くらいでどの事業所も財源問題が大きな問題となっていました。

中には、NPO法人を設立して、一般企業と同じような収益事業として運営している県もありました。

「福祉でも『めし』は食べないと、ボランティアでは人は集まらない」などと、発言していました。「さわやか」とはかなりかけ離れた考えだと感じました。

全国はじめての交流会は、色々な交流を行い成功裏におわりました。

今年もあと少しで終わろうとしています。私にとって今年には色々な出来事があった年でした。色んな出来事の中で一番の出来事は北九州で初めて開かれた「ふれあいファッションショー」にモデルとして出演したことです。

高齢の方、障害のある方がおしゃれを楽しみに外に出ていくという事は大切なことだ、ただ「既製品を少し工夫すれば自分に合う服ができるのに、どこに頼んだらよいかかわからない」とか「着やすい服がなかなか見つからない」などの問題がありました。

私も既製品の服を買ってもファスナーにひもをつけたり、ズボンのゴムをゆるめたりしないとなかなか自分では着れません。今は母親に仕直してもらっています。今回のファッションショーが開かれた目的である「リフォーム支援ボランティアグループ」を育成し、服飾相談窓口が今後できれば助かります。そう言った意味でも今回北九州市で開かれたことはたいへん素晴らしいことだと思います。

「ふれあいファッションショー」は制作者とモデルがどういう服でどういう点を工夫すれば着やすいかなど色々話し合っながら、服のデザインや生地、色などを決めて仕上げていきました。

モデルを体験!

私の製作した服で説明すると、デザインはだいたいの自分の希望(普段パンツルックが多いのでスカートをはきたいことなど)をベースに制作しました。今回わたしが着ているすべて手作りです。色と生地は製作者の方に決めてもらい、見た目より重たくなく肩がこりません。

工夫した点はまずズボンのファスナーにひもをつけて、マジックテープにとめられるようにしました。ジャッケツトも同じように工夫しています。ズボンの上に着ている巻きスカートは取り外せて、さらにリバーシブルに着れます。杖にも服と同じ布で作りました。たぶん誰が見ても傘です。靴もふだん履いている靴と同じ布でカバーを作りフォーマルな服にでも合うようにしました。完成してみるとどこかカレーを食べたくなるような服で、「えーっ」と思ったけどまわりの人から「似合ってる!」「かわいい!」と言われ、違った自分を再発見です。ほんの工夫でおしゃ

ふれあいファッションショー 難病連会員 K.H.さん

きスカートは取り外せて、さらにリバーシブルに着れます。杖にも服と同じ布で作りました。たぶん誰が見ても傘です。靴もふだん履いている靴と同じ布でカバーを作りフォーマルな服にでも合うようにしました。完成してみるとどこかカレーを食べたくなるような服で、「えーっ」と思ったけどまわりの人から「似合ってる!」「かわいい!」と言われ、違った自分を再発見です。ほんの工夫でおしゃ

れで着やすい服ができるんですよ。私は恥ずかしがりやなので本番の時はモデルさんのようになかなか笑えなかったけど多くの方に見てもらい、とても私にとって良い経験でした。これからもっと服を既製品だから着れないじゃないかとおしゃれに楽しめたらなあと思います。

日頃、病院の通院に「さわやか」様にお世話になっていきます。本当に助かっています。普段なかなか言えないのでこの場をかりて、「さわやか」のスタッフの皆様、運転ボランティアの竹内さんありがとうございます。今後ともよろしくお願い致します。

